

○

減少等の理由で事業が中止している。今後、市内で進められている事業の進捗状況を勘案し、地元関係者の意見・要望を聞きながら、県に対し整備要望を行いたい。

坂東 重夫 議員

(無所属)



問 行財政改革について

市税の徴収対策や未利用財産の売却、人件費の削減等行政全般に渡る様々な改革を断行してきた結果、平成26年度までの財政効果額が約56億円となっており、大きな効果があった。今後の取り組みとして、民間活力の導入を図るとともに公共施設の未利用施設を活用するなど一石二鳥の効果のある事業に積極的に取り組んでいく。

問 阿波市の児童発達支援事業について

「社会福祉法人・池田博愛会」から事業所開設の申し入れを受け、「旧阿波市養護老人ホーム吉田荘」を有効活用し、平成27年4月に「児童発達支援事業所どんぐり」が開所した。現在、利用希望児童が年々増加し、待機児童が発生しており、現状の施設では療育スペースが足りず、施設の増設に取り組んでいる。

問 旧阿波市役所庁舎の活用について

「運転免許更新センター」に加えて「地域子育て総合支援拠点施設」さらには、「多目的室」や「特産品の販売店舗」を設置することとしている。平成32年4月の竣工を目指し、整備を進めていく。

問 空き家対策について

市内全域の建物を対象とした調査を実施した結果、1、413件の「空き家」を確認している。「空き家問題」について、

市内で組織する「空家等対策委員会」を中心に関係各課と情報共有しながら、幅広い視点で取り組んでいく。

武澤 豪 議員

(無所属)



問 スマートインターの進捗状況について、企業誘致や企業設置、観光や防災、今後の市の発展にも必要不可欠であるスマートインターの進捗状況はどうなっているのか。

沿線の地形や道路構造等などの制約によって設置できる箇所が限られ、整備事業費が高額になることから事業費削減のため現在も関係機関と協議している。地域活性化には欠かせない重要な施策であるため、今後も国土交通省や関係機関への精力的な要望活動を4車線化も含め行っていく。

問 夜間診療の受診体制の強化について、子育てや、高齢者のいる家族が万一、夜中に怪我や病気になる場合、夜間に専門医が対応してくれる受診体制が不足しているのではないかと。また、今後の強化の予定は。

入院・手術を伴わない初期救急医療や入院・手術を要する第二救急医療は、阿波市や吉野川市の医療機関で対応しているが、救命救急を行う第三次救急医療は徳島市内や三好市内で対応している。搬送者も増えており、小児科医も不足している状況にあるため、救急医療に従事する医師を含め、看護師等の人員体制の確保などを県や医療機関に要望しながら持続可能な地域の救急医療体制の構築を推進し、安心して生活ができる阿波市を目指したい。

榎原 伸 議員

(阿波清風会)



問 阿波市版マイスター制度を取り入れた表彰制度にしては。

阿波市が実施している表彰は善行に関するものでマイスター認定制度とは異なるものだが、選定基準などについて前向きに検討したい。

問 投票率が低い若年層への取り組みとして、インターネット投票や指定された場所以外での大学や職場からの投票、また、期日前投票の時間延長に対する考えは。

選挙執行には18歳以上のすべての国民に選挙権があるという普通選挙の原則をはじめ、5つの原則があり、この5原則を順守しつつ投票率の改善を図る必要がある。提案の施策については、選挙管理委員会をはじめ各関係機関とも連携を図り、他市の状況などについても情報収集に努め、調査研究を行っていく。

問 阿波市の認知症の現状と介護福祉サービスについて。

認知症及びその疑いのある人は、平成30年3月末現在1、812名となっている。訪問介護や通所介護、グループホーム等があり、介護支援専門員がその人の症状にあった介護サービス計画を立て、それに沿ったサービスを提供している。

問 認知症を防ぐための取り組みについて。

認知症予防対策として大きく2つあり、1つ目は特定健診の受診者に保健師等が指導を行い、生活習慣病を改善することで発症リスクの軽減に努めている。2つ目は脳の活性化のため小地域交流サロンの開設や認知症カフェの設置等を推進している。平成30年度からは生活支援体制整備事業で生活支援コーディネーターが各サロンを巡回し

相談を受けるなど、元気な高齢者を増やす目的で活動している。今後も体制を整えていきたい。

笠井 一司 議員

(志政クラブ)



問 阿波市内の道路網についてどのような考えを持っているのか。阿波市の道路計画を明確にしていくべきでないか。

現在の市内の道路網は十分とはいえず「社会資本総合整備計画」により有利な交付金を活用して事業を進めている。現在整備が進められている県道、市道を補完する道路整備を基本に計画していく。市の道路計画は策定できていないが今後研究していきたい。

問 道路舗装の老朽化について、道路の改修が急がれる。新年度予算での積極的な対応を求める。

要望のあった生活道路の舗装改修については、できる限りの予算確保を行い計画的な工事発注を行う。

問 公共工事を巡る環境が変わってきている。入札制度の改正について、どのように取り組んでいるのか。

公共工事の品質確保のため、低入札の防止、公正性・透明性を図るという観点から来年度6月からの施行を目前に改正を考えている。

問 阿波市の公共交通について、4月から運行のデマンド型乗合タクシーは交通政策として考えているのか。福祉政策として考えているのか。

「日常生活を支援する公共交通」「市民ニーズに対応する公共交通」「維持継続し続ける公共交通」の3つの基本方針のもと、市民・事業者・行政が一体となった「持続可能」な地域公共交通体系の確立に取り組んでいる。

放課後児童クラブの指定管理の目的は何か。今後の改善点は。

問 各クラブで同一の質を保つサービス、民間能力の活用、住民ニーズへの効果的・効率的な対応、そして、研修体制の充実と処遇改善により支援員の質

の向上を図りたい。各クラブの自主性を尊重しつつ、事業者のノウハウを加えてよりよい運営を行いたい。

問 学校業務支援システムの共同化によってどのような点が改善されるのか。また経費の節減や人的負担の軽減はどのように

なるのか。

問 学籍管理、成績処理等の電子化による業務負担軽減に加え、メール等の情報共有も容易となる。運用経費は、年間約130万円。削減、また県への事務委託のため、導入までの検討・構築、運用の事務負担が軽減される。

活動状況報告

●委員会等の開催状況（12月～2月）

平成30年12月5日	第4回阿波市議会定例会本会議（代表・一般質問）
6日	（一般質問）
	公営施設（事業）民営化特別委員会
11日	総務常任委員会
12日	文教厚生常任委員会
13日	産業建設常任委員会
18日	第4回阿波市議会定例会本会議（閉会）
平成31年2月18日	議会運営委員会
25日	第1回阿波市議会定例会（開会）

●委員会視察研修の状況

平成30年10月29日～30日	産業建設常任委員会視察研修
	・東京都足立区 デリカフーズ株式会社野菜加工工場視察
	・茨城県牛久市 うしくグリーンファームの取組について
10月30日～31日	総務常任委員会視察研修
	・兵庫県たつの市 公共交通事業について
	・島根県雲南市 公共交通事業について
	・島根県江津市 移住定住促進事業について
11月15日～16日	文教厚生常任委員会視察研修
	・兵庫県佐用町 にしはりまクリーンセンター視察
	・兵庫県豊岡市 五荘奈佐認定こども園の英語教育について
	・クリーンパーク北但視察

平成31年第1回定例会は2月25日（月）開会です。
詳しい日程は、議会事務局議事総務課（0883-36-8750）までお問い合わせください。

平成30年第4回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表 (11月26日～12月18日)

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第69号	旧阿波市役所改修工事請負契約の締結について	原案可決
議案第70号	吉野中学校校舎大規模改修その他工事変更請負契約の締結について	原案可決
議案第53号	平成30年度阿波市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決
議案第54号	平成30年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第55号	平成30年度阿波市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第56号	平成30年度阿波市水道事業会計補正予算（第3号）について	原案可決
議案第57号	阿波市公共施設等総合管理基金条例の制定について	原案可決
議案第58号	阿波市中山間ふるさと・水と土の保全基金条例の廃止について	原案可決
議案第59号	阿波市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第60号	阿波市中小企業振興基本条例の制定について	原案可決
議案第61号	阿波市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第62号	阿波市教育集会所条例の一部改正について	原案可決
議案第63号	阿波市体育施設条例の一部改正について	原案可決
議案第64号	阿波市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第65号	阿波市簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第66号	阿波市八幡簡易水道給水条例の廃止について	原案可決
議案第67号	阿波市放課後児童クラブの指定管理者の指定について	原案可決
議案第68号	土成地域資源活力工房の指定管理者の指定について	原案可決
議案第71号	土地の取得について（庁舎北側公園整備用地の取得）	原案可決
議案第72号	学校業務支援システムの共同化に関する事務の委託に関する規約の制定について	原案可決
請願第1号	独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める請願	採 択
議案第73号	平成30年度阿波市一般会計補正予算（第5号）について	原案可決
議案第74号	阿波市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第75号	市長等の給与条例の一部改正について	原案可決
議案第76号	阿波市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	原案可決
発委第1号	独立行政法人国立病院機構徳島病院の存続を求める意見書	原案可決

議会だより

編集雑感

年が改まり、平成最後の年となりました。平成の30年の間に、新自由主義的な考えからか、社会の情勢や人々の意識が変わり、少子化を始めとして、地域の交流の希薄化、雇用や所得の格差など、様々な社会的課題が明らかになってきました。意識の変化に対応できる施策は限られますが、長期的な視点で対策を考えていかなければなりません。今定例会も、代表・一般質問では半数を超える11人が登壇し、延べ35の項目について様々な視点からの質疑が行われました。今後とも、多方面からの活発な議論を行い、時代により変化する社会的な課題に的確に対応していく必要があると思います。（笠井一司）

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

議会の本会議は公開していますので、どなたでも傍聴することができます。事前の予約はいりません。傍聴を希望される方は、当日、市役所本庁3階にお越しください。37席の傍聴席と、車いすのまま傍聴していただけるスペースがあります。傍聴席入口で「阿波市議会傍聴人名簿」に氏名、住所を記入後、ご入場ください。また、市役所本庁1階・市民情報スペースの大型テレビで議場内を生中継しています。どうぞお気軽にお越しください。